

小学校第6学年1組 外国語活動 学習指導案

期 日 平成22年10月1日(金) 第5校時

場 所 宇城市立豊川小学校 体育館

指導者 教諭 岡本賢也

講師 清田里佳

1 単元名

「家ですること」(宇城市年間指導計画 第6学年)

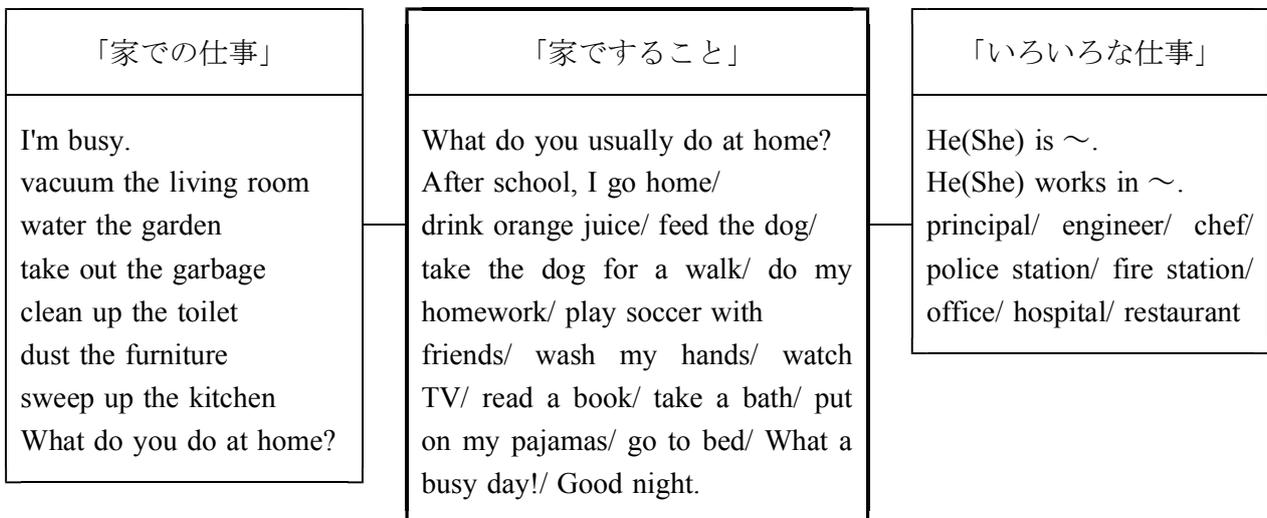
2 単元について

(1) 本単元は、家庭における生活の様子を英語で伝え合う活動を通して、コミュニケーションの楽しさを体験することをねらいとしている。

学校において、児童は毎日ほぼ同じ活動をしながら過ごしているが、家庭ではそれぞれ違った生活をしている。本単元ではその違いに目を向け、放課後の生活の様子を紹介し合う活動を設定している。自分の放課後の生活の様子を紹介したり、友達の発表を聞いて自分の生活と比べたりすることで、互いの違いを認め合ったり、友達の新しい面に気づいたりすることができる。このことにより、児童のコミュニケーションへの関心・意欲・態度を高め、相互理解を深めることもねらいとしている。

主な言語材料としては、家庭における具体的な行動を表す動詞句を取り扱う。普段の生活の様子を英語で表現することを通して、より身近な場面における会話が可能となる。「I play soccer with friends.」のように、「だれと、何を」等の複雑な文も扱うため、児童が難しさを感じることも考えられる。しかし、これまで学習した単語の組み合わせであるため、チャンツ等で発話練習を繰り返すことにより、抵抗感を抑えることができる。また、「It's fun.」等の感想を加えたり、友達の表現に対し、「Oh, really?」等の反応を入れたりすることで、実際の会話場面に近い言語活動を設定できる題材である。

(2) 本単元の系統は次のとおりである。(第6学年)



(3) 本単元に係る児童の実態は次のとおりである。

○本学級は、明るく素直な雰囲気を持つクラスである。普段の授業では、人前での発表を恥ずかしがってうまく自己表現できない児童も見られるが、そういった児童も英語学習の時間においては生き生きと活動している。特に、歌やゲームなどの活動に意欲的に取り組んでいる。

○英語の学習に関するアンケートの結果は次のとおりである。

※ () 内の数字は人数, 回答児童数21人

- ①「英語の授業は楽しいですか。」
とても楽しい (7) 楽しい (14) あまり楽しくない (0) 楽しくない (0)
- ②「英語の学習は分かりますか。」
よく分かる (7) 分かる (13) あまり分からない (1) 分からない (0)
- ③「英語を使って外国の人と会話をしてみたいと思いますか。」
とても思う (13) 思う (8) あまり思わない (0) 思わない (0)
- ④「英語の学習でどんな活動が好きですか。」(複数回答可)
友達との会話 (17) チャンツ (5) ゲーム, アクティビティ (19)
テスト (19) 新しい言葉や表現を知ること (17) ALTとの授業 (17)

- アンケートの結果から, 全体的に英語の時間を楽しみにしている児童が多いことが分かる。ただ, 中には, 人前で自己表現することを恥ずかしがったり, 英語表現や英語での指示が理解できなかつたりするため, 活動を十分に楽しめない児童がいる。
- 児童全員が英語を使って外国の人と会話をしてみたいと答えており, 積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲が育っていると考える。
- ほとんどの児童が好きな活動として「友達との会話」を挙げており, 積極的に他者とかわろうとする態度が見られる。

(4) 指導にあたっては, 次の点に留意する。

〈外国語への慣れ親しみ〉及び〈言語や文化に関する気付き〉

- 英語表現に慣れ親しませるために, チャンツを多く取り入れる。
○習得した英語表現にさらに慣れ親しませるために, 歌やゲーム等の活動を取り入れる。

〈コミュニケーションへの関心・意欲・態度〉

- 活動形態を工夫しながら, 教師と児童及び児童同士で, 英語を使った会話を積極的に行わせる。
○ゲーム等の活動では, 教師同士, または, 教師と児童によるデモンストレーションを行い, 方法をしっかり理解させた上で, 児童が安心して活動に取り組めるようにする。
○表現活動に対して消極的な児童, また, 発音や指示等の理解が困難な児童に対して個別指導を行い, 一人一人がコミュニケーションを楽しむことができるようにする。

〈その他〉

- ピクチャーカードや音楽, 映像を用いて指導する。
○機会をとらえて積極的に褒め (Good, Nice, Good job 等のフレーズの活用), しっかりと認め, 励ましながら, 一人一人が自信を持って表現できる雰囲気作りに努める。
○学習活動はテンポよく進め, 教師の指示等は簡潔に行う。

思考力, 判断力, 表現力等と言語活動

児童が主体的に活動を進めるために, 単元導入時に活動のゴールを明示する。また, 児童が活動の見通しを持って学習を進めることができるように, 1時間ごとの活動のねらいを明確に示す。

言語材料の導入にあたっては, 児童が抵抗なく発話できるように, 楽しみながら言葉に慣れ親しむことができるチャンツやゲームなどの活動を十分に取り入れる。

また, コミュニケーション活動においては, 放課後の家での過ごし方について, 写真や絵, 関係する物などを使って分かりやすく友達に紹介する。ここでは, その時の自分の気持ちを付け加え, 自己表現の幅を広げる。

さらに, 自分との違いなどを意識しながら相手の話をしっかりと聞き, 感想や質問をお互いに出し合うことによって, コミュニケーションとしての深まりや広がりを持たせる。

このプロセスが思考力, 判断力, 表現力等をはぐくむと考える。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	友達の家での生活の様子について関心を持ち、そのことについて尋ねたり答えたりする活動を通して、友達とのコミュニケーションを楽しむ。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 部活動のない日（スペシャルデー）の過ごし方をはっきりと相手に伝えたり，進んで友達に反応や質問などをしたりしている。 友達のスペシャルデーの過ごし方をしっかりと聞いたり，それを他の人に伝えたりしている。
外国語への慣れ親しみ 言語や文化に関する気付き	<ul style="list-style-type: none"> 「家ですること」を表す英語表現を言っている。 放課後の過ごし方について，友達に尋ねたり答えたりしている。

4 指導・評価の計画（4時間取り扱い）

次	時	学 習 活 動	指導上の留意点 ※言語活動とその留意点	評価項目（方法）
1	1	○「家ですること」の英語表現を知る。	<ul style="list-style-type: none"> 本単元の学習内容が分かるDVDを視聴させ，活動の見通しを持たせる。 ※家ですることについてどんな表現があったか気付き，発表する。 活動のねらいを提示し活動意欲を高める。 ※英語の音やリズムに慣れ親しませるために，チャンツやゲームを取り入れる。 	<p>【外国語への慣れ親しみ】 「家ですること」を表す英語表現を言っている。 (行動観察)</p> <p>【言語材料】 drink orange juice, feed the dog, take the dog for a walk, do my homework, play soccer with friends, wash my hands, watch TV, read a book, take a bath, put on my pajamas, go to bed</p>
2	2	○放課後の過ごし方を尋ね合う英語表現を知り，お互いに聞いたり答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 自信を持って発話できるように，形態を変えて何度も繰り返させる。 飽きずに発話させるためにゲームを取り入れる。 ※放課後の過ごし方を相手に伝える。また，そのことに関する感想を1文付け加える。 	<p>【外国語への慣れ親しみ】 放課後の過ごし方について，友達に尋ねたり答えたりしている。 (行動観察)</p> <p>【言語材料】 What do you do after school? I do my homework. It's hard.</p>
3	3 (本時)	○部活動のない日（スペシャルデー）の放課後の過ごし方を紹介し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ※スペシャルデーの過ごし方を相手に分かりやすく伝え，そのことについて質問や感想を出し合う。 少人数で練習しながら，分かりやすく伝え合う。 2班に分かれて，発表会を行う。 	<p>【関心・意欲・態度】 スペシャルデーの過ごし方をはっきりと相手に伝えたり，進んで友達に反応や質問などをしたりしている。 (発表，行動観察)</p> <p>【言語材料】 What do you do after school on Wednesday? I do ikebana. It's fun.</p>
4	4	○友達のスペシャルデーの過ごし方について聞き取ったことをお互いに報告し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ※既習事項を加えながらコミュニケーションを行わせる。 報告するための表現をしっかりと練習させる。 ※友達についての新しい発見や活動の感想を発表し合う。 	<p>【関心・意欲・態度】 友達のスペシャルデーの過ごし方をしっかりと聞いて，それを他の人に伝えようとしている。 (発表，行動観察)</p> <p>【言語材料】 Ken plays baseball with friends. (It's fun.)</p>

5 本時の学習

(1) 目標 スペシャルデー（部活動のない日）の過ごし方を伝え合い、お互いのことを知る。

(2) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	教師の指導及び評価	備考
導入 10分	1 ウォームアップ【一斉】 (1)'Hello Song'を歌う。 (2)あいさつをする。 (3)基本会話の練習をする。(友達2人+教師) (4)前時の復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> • Let's sing 'Hello Song'. • Hello, everyone. • How are you? • 学校, 誕生日 • Let's chant! • Repeat after me. • Repeat after Rika sensei. 	<ul style="list-style-type: none"> ○外国語活動の雰囲気作りを図る。 ○児童と一緒に楽しく歌う。 ○本時の基本会話のデモンストレーションを行う。 ○チャンツでテンポよく発話させる。 ○飽きずに繰り返し発話できるように、形態を変える。 	<p>CD</p> <p>BGM</p> <p>リズムボックス 絵カード</p>
展開 30分	2 前時までの活動を振り返り、本時の活動のめあてを知る。【一斉】	○今日の活動のめあてを確認しましょう。	○本時の見通しを持たせ、活動への意欲を高める。	活動のめあて
スペシャルデー（部活動のない日）の様子を紹介し合おう！				
	3 スペシャルデーの過ごし方の尋ね方や答え方の表現を確認する。【一斉】 4 尋ね方や答え方の練習をする。【一斉】	<ul style="list-style-type: none"> • Look at our demonstration! • What do you do after school on Wednesday? • I do <i>ikebana</i>. It's fun. • Let's chant! • Repeat after me. • Repeat after Rika sensei. 	<ul style="list-style-type: none"> ○T1, T2で会話の模範を示す。 ○アイコンタクトを大切にしたり、はっきりと発話したりして相手に分かりやすく伝えることを心がけさせる。 	リズムボックス
	5 お互いに尋ね合う練習をする。【ペア, 一斉】 6 発表会をする。【2班に分かれて】 ① What do you do after school on Wednesday? ② I do <i>ikebana</i> . It's fun. ③ 質問やよかったところなどを出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> • Let's practice with two friends and one teacher. <p>○みんなに分かりやすく、スペシャルデーの過ごし方を紹介しましょう。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>予想される児童からの反応</p> <ul style="list-style-type: none"> • Oh, really? • Me too. • Do you like~? • どこで(だれと)~をしたのですか? など </div>	<ul style="list-style-type: none"> • 活動を見て回るとともに、うまく会話できない児童への支援を行い、次の活動で安心して発表できるようにする。 • 発表会の進行を行う。 • 大きな声で発表したり表情豊かに表現している児童を褒める。 • スムーズに発表できない児童に対して支援する。 <p>※言語活動 発表を基に、児童同士でコミュニケーションを行わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>スペシャルデーの過ごし方をはっきりと相手に伝えたり、進んで友達に反応や質問などをしたりしている。</p> <p style="text-align: center;">【発表, 行動観察】</p> </div>	BGM ステージ1 ステージ2 各児童が用意した発表に必要な写真や物など
終末 5分	7 本時のまとめをする。 (1)児童の感想を出し合い、本時の活動を振り返る。 (2)終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ○今日の活動の感想を出し合いましょう。 • That's all for today. • See you. 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達の発表でよかったところや新しい発見などを出し合う。 ○次時の活動について触れる。 	